

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究

法人名 国立大学法人熊本大学

学部・研究科等名 医学部

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目Ⅱ 教育内容

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 教育課程の編成

・基礎演習の充実（医学科）

医学科では、基礎医学研究を体験させるため3年生を対象として、基礎演習（基礎研究室配属）を実施している。平成21年度からは、基礎演習の期間を従来の4週間から8週間に延長すると同時に、厳格な評価体制を導入し、最終週に成果発表会を実施している。さらに、リサーチマインド醸成のための科目を充実させている。

・臨床教授体制の導入による臨床実習教育の指導體制の強化（保健学科）

医学科では、平成9年度から臨床教授制度を実施しているが、保健学科においても、平成20年度から臨床教育の指導體制の充実を図ることを目的に、臨床教育に協力する医療機関等の優れた医療人に対して臨床教授等の称号を付与する臨床教授等体制を導入した（資料1）。

・専門教育強化のための新カリキュラムの導入（保健学科）

看護学専攻では、平成21年度カリキュラムから、保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正へ対応し、科目「看護技術の統合と医療安全」において、臨地実習事例を病態生理学、発達段階、環境、診断・治療・検査、看護ケア等の各視点を考察し、医療安全行動ができる内容とした。また、科目「災害看護」において、罹災下における希少資源の活用、ライフライン途絶による影響を視野に入れた災害現場を想定した実践的な内容とした。検査技術科学分野では、検査情報の統計処理業務の高度化に対応するため、基礎科目の保健衛生統計学を必修科目に変更した。

上記のとおり、平成20年度以降の取組による「教育課程の編成」の改善状況は極めて顕著である。

資料1 保健学科における臨床教授等の称号付与件数（人）

		平成20年度	平成21年度
看護学分野	臨床教授	29	41
	臨床准教授	4	5
	臨床講師	0	0
医用放射線科学分野	臨床教授	16	17
	臨床准教授	39	45
	臨床講師	1	2
検査技術科学分野	臨床教授	3	4
	臨床准教授	15	17
	臨床講師	0	0
計	臨床教授	48	62
	臨床准教授	58	67
	臨床講師	1	2

出典：保健学科会議資料等を基に作成